

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	顕微鏡と Unilateral Biportal Endoscopy(UBE)による腰椎椎間板ヘルニア摘出術の成績
研究責任者	せぼね骨腫瘍科 三宅 央哲
研究実施体制	【研究分担者】 聖隷浜松病院 整形外科 佐々木寛二 聖隷浜松病院 せぼね骨腫瘍科 渡邊水樹/石井啓介/野坂潮/水野哲太郎/吉水隆貴/ 斉藤三四郎
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2035 年 12 月 31 日
対象者	2010 年 1 月 1 日から 2035 年 12 月 31 日の間に聖隷浜松病院せぼね骨腫瘍科で腰椎椎間板ヘルニア摘出術を受けた患者さん。
研究の意義・目的	当院で行っている UBE を用いた腰椎椎間板ヘルニア摘出術に関する治療成績、安全性の検討を行います。従来法より低侵襲な手術であり患者様にメリットがありますが、治療成績や安全性の検討が必要と考えます。
研究の方法	対象患者様について、後方視的に単純 X 線、CT、MRI 画像、手術記録、使用インプラント、JOA スコア、JOABPEQ などの評価を行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 せぼね骨腫瘍科 (氏名) 三宅 央哲 TEL:053-474-2222(代表) せぼね骨腫瘍科外来 9:00～17:00 平日